

補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等			
補助金の名称	水稲広域防除事業補助金	No.	54
予算事業名	農業生産支援事業		
予算科目	款 06農林水産業費	項 01農業費	目 03農業振興費
	節 19負担金補助及び交付金	細々節 01農業生産支援等補助金（水稲広域事業補助金）	
部課名	まちづくり環境部産業振興課	電話番号	049-251-2711 内線 244

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則	富士見市農林水産振興事業補助金等の交付手続等に関する規則	
	要綱		
	その他		
開始年度	平成 8 年度	終期の設定	<input type="checkbox"/> 有(年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費の補助	

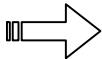
補助金の概要	
目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	農作物への病害虫発生複雑化・多発的傾向に対処するための知識の普及・徹底を図るとともに、広域防除を実施することにより、農業生産の増進と農業経営の安定化を図ることを目的とする。
導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	市内の主要農産物である水稲生産者の高齢化が進むなか、労力の軽減や防除効果、生産コストの低減などを図るため、有効な広域的な一斉防除を実施する富士見市農作物病害虫防除協議会に補助金を交付することとなった。
対象資格 (対象資格はどのようなものか。)	水稲共済組合加入者に対する間接補助であるが、直接の補助対象者は「富士見市農作物病害虫防除協議会」である。
交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	補助金額…水稲共済組合加入者が購入する箱施用薬剤（購入費）に対する定額補助 ※定額補助の考え方…購入費の1/2以内の範囲で補助金額を定める。
積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 1,944 千円 平成19年度以降の定額補助額を1,944千円としているため、その額で積算

補助割合等	
補助割合等の明示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 定額) <input type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位:件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	1件 (315戸2,109箱)	1件 (277戸2,054箱)	1件 (270戸2,000箱)	
交付(見込)件数の増減要因		-	-	
決算(予算)額(A)	1,944,000	1,944,000	1,944,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	1,944,000	1,944,000	
概算人件費(B)	7,890	7,915	7,912	
概算補助事業費(A+B)	1,951,890	1,951,915	1,951,912	
実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	実績報告時に次の書類を添付させている。 ①収支決算書 ②広域防除事業箱施用薬剤地区別数量一覧表 ③箱施用薬剤補助額一覧			

事業環境等	
見直しの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (19 年度) <input type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直内容 無⇒見直さない理由	平成19年度から定額補助額の変更 ※平成18年度以前216万円⇒平成19年度以後194.4万円

廃止した場合の問題点 (廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)	事業を廃止した場合には、農業従事者の労力・コスト面等から、営農しなくなる生産者が増え、耕作放棄地が増大する可能性が高い。 また、コスト面からみて、他の防除方法に切り替えることは難しく、安全面の問題が生じる可能性もある。
---	--

評価			
評価項目		判断理由	評価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	防除協議会は農薬の使用方法等についても指導を行っており、適正な農薬の安全使用を推奨することで、残留農薬等の問題のほか、環境面にも配慮しているといえる。 このようなことから、行政の実施が望ましい。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	農薬を安全使用し、安全な農産物を供給していくためには、厳しい財政状況であっても優先的に実施するべきであると考ええる。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	広域的な一斉防除は、防除効果も高く、作業の省力化も図られるので有効である。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	有効性にもあるとおり、広域的な一斉防除は、防除効果も高く、作業の省力化が図られているため、導入目的を達成しているといえる。 ただし、毎年の実施が必要なものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上継続  <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更） <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで）		
所属長評価	見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。		
所属長評価	農業従事者の高齢化がますます進んでおり、労力・コスト面等を考慮すると、離農者の増加が懸念される。		